

リビール™ 3-D 食物アレルギーイムノクロマトキット

キット構成

品目	数量	保管方法
テストストリップ (Test devices)	10個	2-8 °C
Type8 抽出緩衝液 (Extraction buffer)	10包	2-8 °C
スワブ湿潤液 (Swab wetting solution)	1本	2-8 °C
サンプルチューブ・フタ	各10個	—
滅菌スワブ	10本	—

※ キットの内容物はすべて使用前に室温 (18~30°C) に戻してからご使用ください

※ 食品検体を用いる場合は、別途リビール™ 3-D 食品検査用緩衝液 (カタログ製品番号: 8504) が必要です

※ リビール™ 3-D 小麦アレルギーイムノクロマトキット (カタログ製品番号: 8505) は別の専用説明書をご確認ください

操作手順

※ テストストリップの外装の色はキットによって異なります。写真は代表例として卵アレルギーキット (紫色) を示しています

食品検体



1. 50 mLチューブに、リビール™ 3-D 食品検査用緩衝液を20 mL (液体検体の場合は18 mL) を加えます



2. 検体2 g (液体の場合は2 mL) をチューブに加えます



3. キャップをしっかり閉め、1分間振とうします



4. チューブを約45°の角度に傾け、テストストリップをチューブ内に浸します



5. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

環境検体 (ふき取り)



1. 付属のチューブにType8 抽出緩衝液を加えます



2. 乾燥した表面をふき取る場合は、付属のスワブ湿潤液で先端を湿らせます



3. 検体表面をふき取ります



4. スwabをType8 抽出緩衝液に戻します



5. スwab柄の折り目に沿ってゆっくり先端を折り、チューブに入れます



6. キャップをしっかり閉め、1分間振とうします



7. フタを外し、チューブ内の液体を入れて満たします



8. フタの液体にテストストリップを浸します



9. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

環境検体（リンス水）



1. 付属のチューブにType8 抽出緩衝液を加えます



2. 検体を0.25 mLチューブに加えます



3. キャップをしっかり閉め、1分間振とうします



4. フタを外し、チューブ内の液体を入れて満たします



5. フタ内の液体にテストストリップを浸します



6. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

判定方法



T=テストライン
O=オーバーロードライン（高濃度陽性ライン）
C=コントロールライン

オーバーロードライン（高濃度陽性ライン）による高い信頼性

イムノクロマト法によるアレルゲン検査では、検体中の汚染濃度が非常に高い場合、テストストリップが過負荷となり、偽陰性が生じることがあります。本キットではオーバーロードラインを採用しており、高濃度による偽陰性反応を容易に識別できます。

①	Cにラインがあり、O・Tにラインが認められない場合	⊘	再検査推奨*
②	C・O・Tすべてでラインが認められる場合	(+)	陽性
③	C・Oにラインがあり、Tにラインが認められない場合	(-)	陰性

*左図①のようにコントロールラインが認められるものの、オーバーロードラインが認められない場合、試験結果は有効ですが、必要に応じて試料を希釈した上で再検査を実施することが推奨されます。